

大津市立北大路中学校 「自主力行」「凡事徹底」



校長室だより

平成 23 年 (2011 年) 5 月 10 日

校長 山中 一仁

人のために役立つということ

先日 1 年生の「ふるさと体験学習」が、大きな事故なく大成功と言える成果を収めて終わりました。準備段階での大変さや活動途中のしんどさが小さくなってしまふほど、子どもたちは、「とっても楽しかったです。」「みんなと一緒にまた来たい。」「アマゴ君から“命の大切さ”を学び、すべての活動から“協力する大切さ”を学びました。」「自然の家の方から教えていただいた“三つ(人・自然・自分)のふれあい”をこれからも大切にしたいです。」といった言葉の中に凝縮されている多くの素晴らしい思い出をお土産にして帰ってきました。担当の先生の指導もよかったです。特筆すべきは、キャンプ村の職員の方々から、後片付けの良さを褒めていただいたことです。次に使う人の身になって心を込めてきれいにしてくれていたその姿勢を褒めてくださったのです。人が生きていく上で大切にすべき一つを教えていただいたように思います。

ところで、今月末から 2 年生の職場体験学習が始まります。「仕事」、「生き方」を考えたとき、先日のニュースを思い出しました。一昔前にアイドルとして活躍された「キャンディーズ」という 3 人グループの 1 人で、スーさんこと田中好子さんが乳癌のため亡くなったというニュースでした。最近では女優として映画やテレビドラマ等に出演され活躍されていたようですが、惜しいかな癌が彼女の命を奪ってしまいました。彼女の告別式を報道するニュースの中で、亡くなる少し前に録音されたものらしく、すでに自分の死を覚悟されていた声が流れました。その声には、これまでの彼女の人生が幸福であったことや世話になった方々へのお礼、そして、さまざまな彼女の思いが込められていました。特に心打たれたのは「私が天国に行ったら、先日の東日本大震災によって、先に行っておられる方々に対して、何かお役に立てることをしたいと思っています。」という言葉です。人を喜ばせること、人に感動してもらうことが仕事であった方ですから、なるほどと思いつつもこみ上げてくるものがありました。



このような体験活動を通し、社会の見方や人としての生き方について、考えを深めてくれることを願っています。

このように体験活動を通し、社会の見方や人としての生き方について、考えを深めてくれることを願っています。